

京都大学文学研究科・北京大学歴史学部 交流協定締結記念

21世紀COEプロジェクト「グローバル化時代の多元的人文学の拠点形成」国際シンポジウム

京都と北京：光の交わるところ——学問知から人類知へ

とき：2005年12月17日

ところ：京都大学時計台・百周年記念ホール

9:30 開会

挨拶 京都大学総長・尾池和夫、文学研究科長・藤井譲治、北京大学歴史学部・張希清
特別議題「グローバル化と日中のゆくえ」

9:50 京都大学文学研究科・紀平英作

「二十世紀東アジア国際関係の形成と展開——アメリカ・日本そして中国——」

10:40 北京大学歴史学部長・牛大勇 「米中関係の過去と未来—日本とのかかわりのなかで」

11:30 ディスカッション 司会：園田矢

ディスカッサント：京都大学文学研究科・永井和
北京大学歴史学部・王鏗

12:30 午前中終了

14:00 総合討論 「人文系学術の過去・現在・将来」

司会：京都大学文学研究科・平田昌司

「アジアからの発信」

①14:10-14:35 北京大学歴史学部 閻歩克 「古代中国の王朝と服制」

②14:35-15:00 京都大学文学研究科 吉川真司 「国際交易と古代日本」

小休憩

「中華をこえて」

①15:10-15:35 北京大学歴史学部 栄新江 「新発見の中国中世史」

②15:35-16:00 京都大学文学研究科 中砂明德 「イエズス会士の眼で世界を見る」

小休憩

「学問と社会」

①16:10-16:35 北京大学中文学部 陳平原 「文学史の視野のなかの大学」

②16:35-17:00 京都大学文学研究科 南川高志 「西洋古代史研究の発展と東洋人学者の立場」

17:10 総括 コメント：北京大学歴史学部・鄧小南

京都大学文学研究科・根立研介

18:30 閉会

挨拶 京都大学文学研究科歴史文化学系代表・夫馬進